

## 第2回日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会 (第2回 日野市交通バリアフリー基本構想 進行管理会議) 議事録

日 時 平成22年3月30日(火) 15:00~16:00

場 所 市役所5階 505会議室

出席者(順不同・敬称略)

会 長	竹宮 健司(首都大学東京 都市環境学部 建築都市コース 准教授)
副会長	吉田 樹(首都大学東京 都市環境学部 自然・文化ツーリズムコース助教)
委 員	佐々木信行(ピープルファースト東京)
	藤田 博文(自立生活センター日野)
	早川 裕子(市民サポートセンター日野)
	藤井 恵(公募市民)
	井上 敏夫(日野市商工会 会長)
欠席委員	有山 一博(日野市聴覚障害者協会)
	田辺 邦夫(日野市視覚障害者協会)
	西久保修治(日野市老人クラブ連合会)
	鈴木 宏(日野市社会福祉協議会 事務局長)
	本吉 康浩(独立行政法人都市再生機構 東日本支社技術監理部市街地設計 チームリーダー)
関係事業者	瀬井 健次(日野警察署 交通課長)
	柳館 安夫(日野警察署 交通課交通規制係長)
	永吉 研二(国土交通省 相武国道事務所 交通対策課安全施設係長)
	久野 健一郎(東京都 南多摩西部建設事務所 補修課長)
	宮田 守(日野市役所 道路課長)
	川鍋 孝(日野市役所 道路課道路係長)
	加藤 貴之(京王電鉄株 鉄道事業本部 計画管理部計画担当課長補佐)
	窪田 洋(京王電鉄バス(株) 営業部営業第一担当課長)
	井上 喜央(西東京バス(株) 運輸部営業担当課長)
	脇本 徹也(多摩都市モノレール株 総務部総務課長)
欠席事業者	多田 房子(日野市役所 都市計画課長)
	前川 幸子(JR東日本(株)八王子支社 総務部企画室担当課長)
	中澤 洋(南観光交通株 代表取締役社長)
日野市	金子 峰男 まちづくり部 部長
	荻原 弘次 企画部 部長
	大坪 冬彦 健康福祉部 部長
事務局	小俣 太郎 まちづくり部 都市計画課 係長
	百瀬 大介 まちづくり部 都市計画課 主査
	大野 高宏 まちづくり部 都市計画課 主査
書 記	寺島 薫 株式会社アークポイント 代表取締役
	平山 清美 株式会社アークポイント

## 1. 諮問

「諮問第2号 平成21年度日野市交通バリアフリー特定事業計画の評価点検について」

## 2. 平成21年度 特定事業の報告

### (1) 国土交通省相武国道事務所

- ・市立病院から多摩平第一公園東側までの日野バイパスの誘導ブロックの設置、段差の軽減は既に実施済み。今後は特定事業外だが、電線共同溝工事等に併せて、歩道のセミフラット化を予定している。

### (2) 東京都南多摩西部建設事務所

- ・日野駅周辺では、甲州街道と川崎街道の一部を整備。
- ・豊田駅周辺では、一般都道155号線の一部を整備。
- ・高幡不動駅周辺では、モノレール高架下の道路と川崎街道の一部を整備。
- ・整備内容はいずれも誘導ブロックの設置、段差の軽減であり、一部浸透舗装の整備も実施。

### (3) 日野市道路課

- ・日野駅周辺では、日野第一小学校周辺の日野宿通り周辺の再生・整備。
- ・豊田駅周辺では、多摩平緑地通り、南北区画道路の整備。
- ・高幡不動駅周辺では、旧七生（ななお）支所までの経路の整備を継続中。

### (4) 日野市都市計画課

- ・職員研修の実施、案内サインの検討。
- ・豊田駅では、南口のエレベータ整備を継続中。

### (5) JR 東日本

- ・豊田駅では車いす使用者、高齢者、障害者などが使いやすい券売機への更新。
- ・平成22年度に、豊田駅北口にエレベータ1基、改札内に2基整備予定。

### (6) 京王電鉄

- ・車両のバリアフリー化93パーセント。平成22年度には100パーセント予定。
- ・券売機の下に車いす対応のけこみ及び、点字表記の設置。
- ・駅係員の案内サービスの強化として、サービス介助士2級の取得を推進。

### (7) 京王電鉄バス

- ・バリアフリー車両の導入、車内での音声バス停案内、停留所表示は100パーセント完了。
- ・車いす使用者の乗車方法の研修の実施。従来のリフト付きバス、新車種のスロープ付きバスを使用。

### (8) 西東京バス

- ・バリアフリー車両の導入、車内での音声バス停案内、停留所表示は100パーセント完了。
- ・認知症サポーター100万人キャラバンのキャラバン・メイトに3名登録。
- ・平成22年度は、認知症サポーター養成講座を開催予定。

### (9) 日野警察

- ・特定経路上の音響式視覚障害者用付加装置の設置の状況を報告。
- ・日野駅周辺では、平成21年度4ヶ所設置し、全12ヶ所中10ヶ所完了。
- ・豊田駅周辺では、平成21年度5ヶ所設置し、全14ヶ所完了。
- ・高幡不動駅周辺では、平成21年度1ヶ所設置し、全6ヶ所完了。

## 【意見交換・質疑応答】

会 長 /意見交換では個別の整備内容についてではなく、どのようなバリアフリー改善ができたのか、前向きに話し合いたい。

委 員 /高幡不動のモノレール高架下道路の横断歩道部分の歩車道境界のブロックは、改善していないのではないかと破損している部分もあった。

京王電鉄の各駅はスロープ等の整備で使いやすくなってきた。百草園駅のエレベータはいつから使用できるのか。

券売機の下に蹴込みがあるのはよいが、モニターに天井照明が映り見にくい。

京王バスに乗車したが、高幡不動駅ではベルトで固定したが、日野第一小入口で乗車した時は確認もせず、ベルトの固定が無かった。研修ではどのように指導しているのか。運転手の裁量に任せているのか。

都南西建 /具体の場所を確認・再点検して、補修可能な箇所は補修したい。

京王電鉄 /下りホームと南口改札階のエレベータは、7月供用開始予定。それまではスロープを使用頂きたい。できた部分から順次供用していく。

券売機の構造は鉄道各社共通の機種であり、1社で改善できない。全国レベルの問題であり、今後もメーカーに伝えていく。

京王バス /ベルトの固定は、当然お客様に確認して固定するように研修している。ベルト固定を不要と言われるお客様もいるが“必ず確認する”ためのコミュニケーションをするように指導している。営業所で指導する。

委 員 /歩道の浸透性ブロックの舗装はいいが、街路樹の根で押し上げられ、2cmくらい盛り上がっている所もある。根が張らない樹種の選定や補修の徹底など検討頂きたい。また、水道栓の蓋で車いすの車輪がひっかかったことがある。

市道路課 /植樹帯があるので舗装を盛り上げている所がある。根が張らない樹種の選択もしている。また道路パトロールで気づいた所は補修している。水道栓については具体の場所を伝えていただき対応したい。(いなげや前の通り)

委 員 /駅構内で宣伝パンフレットのラックが通行の邪魔になっている。店の区画の中に置いてあるのか、通行部分にはみ出しているのか。

モノレール高架下道路の一部のガードレールの支えがH形鋼であり角が危険ではないか。

モノレール高架下道路のバス停のベンチが2人分しかなく、少ないのではないかと。

京王電鉄 /動線を邪魔しないように駅長がお店に指導している。先ほどの宣伝パンフレットのラックの位置については後ほど具体の場所を教えてほしい。

都南西建 /H形鋼に取り付けたガードレールは工事中の仮設である。危険が無いようにしたい。

副 会 長 /歩車道の段差は2cmとしているようだが施工誤差の部分もあるのではないかと。道路のガイドラインには0~2cmですり付けることとしている。ただすり付けの形状のタイプがいろいろあると視覚障害者が歩車道の区別がつかない。どのような歩車道のすり付け形状がよいかトータルで議論すべきだろう。

券売機のタッチパネルに天井照明が映り込み画面が見えなくなるとの指摘は、他の会議でも出ている。対策の工夫が必要だ。

委員 /バスで車いすの固定については時間がかかるが、始発の高幡不動駅では乗客も見守っていたようだ。ただ途中のバス停では急いでしまい、固定をしなかったのではないか。乗客の理解はどうだったか。まだ車いす使用の人がバスに乗車するのを見たことがない人も多いのではないか。もっと乗って頻度を上げれば、手際のよい乗車に慣れるのではないか。どの位の頻度で利用されているか、バス会社では把握しているか。

京王バス /現在は 100%ノンステップバスのために、車いす使用の乗客の利用統計はとっていない。通勤や通院に利用している人もいる。各路線にそのような乗客はいるのではないか。

固定ベルトについては、固定しやすい形式のものがほしい。色々な部品を出して固定していると回りの乗客の視線が気になる車いす使用のお客様もいる。乗車しやすくできるように努力したい。

西東京バス/八王子病院行きのバス路線には、毎日 10 人くらいの利用者がいる。車いすの形状も色々あり固定方法に戸惑うこともあるようだ。電動車いすの固定の時にフレームを破損したことがあった。

#### 【答 申】

##### ①個別のユーザーの意見を伝えられ、吸い上げられる仕組みが必要

条例 18 条で表彰を行うことができると定められていることから、使いやすい整備や工夫については表彰するなどの制度を設け、努力を顕彰し、その情報を共有できるようにすることが望まれる。これらは「白書」に反映させられるのではないか。

##### ②ユニバーサルデザイン整備の効果、評価の公表

事業者の把握しているユニバーサルデザイン整備による効果の情報（転倒事故が減ったなどの検証結果やデータなど）を公表して、評価を伝えることも必要である。

以上 2 点を答申します。